

## OJT研修兼メンターチーム会①

今回は、今回と次号の2回に分けて、若年教員チームが行っているメンターチーム会の様子を紹介します。その会では、本校が以前から取り組んでいる「先輩教員からの講話」と「自主的な取組の交流」の2本立てで行っています。

### [自主的な取組] 先輩教員の朝学活や終学活を参観して学んだこと

#### 立ち位置

- ・隅っこに座る。  
〈生徒の自主性の育成〉
- ・あえて何も注意せず、黙って観察。  
〈自分達で何をすべきか気付かせる〉

#### 環境

- ・机の上を整理させて、気が散るものを無くして集中させていた。  
〈話を聞く姿勢、態度の育成〉
- ・話を聞かせる場面では静かにさせていた。  
〈学級で一番大切にすることは「雰囲気」をつくること〉
- ・後ろの黒板に漫画の切り抜きを掲示。  
〈アニメや漫画にも教育として大切なメッセージが多く、生徒たちにも伝わりやすい〉

#### 接し方

- ・指導の時、生徒とのやり取りを大切にしている。
- ・誕生日の生徒にみんなで歌を歌う。  
〈生徒同士がお互いに興味を持つきっかけづくり。自己有用感の向上〉



\* < >は気づきや学んだこと、予想される担任の意図

#### 言葉かけ

- ・緩んでいる空気感が出ていたとき、実際の経験（小さなことが大きな問題になった）をもとに分かりやすく伝えていた。  
〈実際にあったことだからこそ身近に捉えられる / 意識の引き締め〉
- ・その日にあったことをもとに、メリハリを付けることの注意がけ。  
〈機会を捉えて指導する〉
- ・「どうですか」「どう思いますか」全体への投げかけ  
〈自分事として考えさせる〉
- ・日頃から学級目標、学年目標を意識させている。  
〈自分たちで決めた目標を達成させたい〉
- ・MVPの人や理由が同じようになってきた時に、改めて選び方を説明。  
〈MVPを流れ作業にしない / 生徒同士がお互いをより見るきっかけに〉
- ・授業評価に4が並んだ時、改めて5を取ることを、授業評価について説明していた。  
〈その時のクラスに応じた話や声かけ〉

### 地域連携



中川教頭先生より (1部を紹介)

学校教育は、教育基本法等の法や高知県教育振興基本計画、四万十市教育振興基本計画に基づいて行われていることを教えていただきました。また、高知県教育振興基本計画の「6つの基本方針」の中に、「地域との連携・協働」という項目があり、学校・家庭・地域の連携・協働により、子供を見守り育ていく体制の整備が必要であることも教えていただきました。

本校のPTA 専門部会、地域学校協働本部運営協議会等の組織についても教えていただきました。

### 社会人としての常識&働き方を見直す



西尾総括主任より (1部を紹介)

- ・公私を区別する。(学校の備品等の私物化×、スマホを学校で充電× 等)
- ・信用失墜行為の禁止。
- ・提出物の締め切りを守る。(提出したその先にも人がいる)
- ・感謝の気持ちを忘れない。(1つの例を挙げると、給湯室のお菓子等、持ってきてくれている人がいる)
- ・「働き方改革」は「休み方改革」。休日は本当に休みましょう。
- ・心身の健康を守るために「自分自身のご機嫌」の取り方を知っていますか？